

足立区

【児童・生徒数】 43,995名（令和4年5月1日現在）
 【学校数】 103校

【足立区の特徴】

荒川をはじめとした豊かな水辺や自然環境、多くの名所旧跡に恵まれている。また、新線開通や大学誘致等の社会基盤の整備があり、活気に溢れた地域である。



【課題・改善】

- ・毎日運動やスポーツをする時間が30分未満の児童・生徒が **22.9%**
 ⇒体育科・保健体育科の授業や休み時間を利用する等、日々の教育活動で運動習慣の定着を図る。
- ・運動やスポーツをもっとしたいと思わない児童・生徒が **14.4%**
 ⇒地域社会の力を活用した多様な運動の機会を創出し、運動やスポーツへの関心をさらに高める。

【実態・課題】

- ・一部種目を除き、令和元年度から体力が低下傾向にある。
- ・東京都平均に比べ、毎日60分以上運動やスポーツをする児童・生徒の割合が低い傾向にある。
- ※「東京都児童・生徒体力・運動能力等調査」（令和4年4月から6月実施）より
 ⇒児童・生徒の運動やスポーツへの興味・関心を高める。
 ⇒運動習慣を定着できるようにする。

目標

- ・運動やスポーツをすることが好きな児童・生徒の割合の増加（90%）
- ・運動やスポーツをもっとしたいと思う児童・生徒の割合の増加（90%）
- ・毎日、合計60分以上、運動やスポーツをする児童・生徒の割合の増加（50%）

【成果】

足立区プログラムを実施した児童・生徒を対象にアンケート調査（令和5年1月実施）を行ったところ、次のような成果があった。

- ① 運動やスポーツをすることが好きな児童・生徒の割合が **90.6%**
- ② 運動やスポーツをもっとしたいと思う児童・生徒の割合が **85.6%**
- ③ 毎日、合計60分以上運動やスポーツをする児童・生徒の割合が **52.2%**

【取組】

【足立区プログラムの目的】
 スポーツの関係機関や外部人材と連携した取組を充実することで、運動やスポーツの実施頻度や意欲等の向上を図り、児童・生徒が健康で活力に満ちた生活をデザインすることができる資質・能力を育む。

【足立区プログラムの取組】

- (1) 「走り方教室」
- (2) 「投げ方教室」
- (3) 「ダンス教室」
- (4) 「器械体操教室」

【取組（詳細）】（体育科・保健体育科の授業にて実施）

(1) 「走り方教室」（小学校2校実施）

【講師】
 ミズノ株式会社派遣講師
 【内容】（校庭にて実施）
 速く走るために必要な要素を、様々なトレーニングで身に付ける。速く走るためのポイントを専門の指導者のもと楽しみながら練習し、運動習慣の定着を図る。



(2) 「投げ方教室」（小学校5校実施）

【講師】
 群馬大学大学院医学系研究科准教授 小山啓太氏
 ミズノ株式会社派遣講師
 【内容】（校庭及び体育館にて実施）
 ボール（エリプセンス）を使い、手を動かす運動を行うことにより、バランス力・遠くに投げる力・運動技能を伸ばすとともに、運動に親しむ資質や能力を育む。



(3) 「ダンス教室」（小学校6校実施）

【講師】
 セントラルスポーツ株式会社派遣講師
 【内容】（校庭及び体育館にて実施）
 様々なジャンルのダンスステップを初心者・初級者向けに指導するとともに、音楽とふれあいダンスを踊ることで、楽しみながらダンスの基礎的な「リズム感」「柔軟性」を身に付け、もっと体を動かしたいという心情を育む。



(4) 「器械体操教室」（小学校5校・中学校1校実施）

【講師】
 セントラルスポーツ株式会社派遣講師
 【内容】（体育館にて実施）
 鉄棒・跳び箱・マット運動をはじめ、ボール運動等にチャレンジすることで、総合的な運動能力を養い、楽しみながら、自ら体力を高めていく習慣を身に付ける。（内容は学校ごとに相談）

